



2010・7
13号

ルドベキア

(財)兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター

第1回 魅せる庭へ:3つの基本

(社)兵庫県造園建設業協会 大谷 芽衣子

個人邸の仕事で家庭を訪れると、花好きのパワーに圧倒されることがあります。溢れんばかりの花の種類や量、花に関する様々な知識は、私も学ぶことが多いです。

しかし残念なのは、たくさんの花々が寄せ集められただけのことが多いこと。品種や色が雑然と並んでいる印象を受けます。好きだから集めるというのは当然ですが、数多くの草花を植え込む‘足し算する構成’はデザインの意図が伝わりにくく、多種類にも関わらず単純に感じさせます。

自分で楽しむのならそのままでも十分ですが、家族や隣人を楽しませたり、オープンガーデンで庭をカッコ良く公開するなら工夫が必要です。

ここで良く言われるのは‘引き算のデザイン’です。無駄な要素はできる限り削ぎ落とし、各要素に適切な空間を与えることで要素を引き立たせて、デザインを組み立てていきます。そこで、花の種類や色はそのままでも簡単に‘引き算のデザイン’らしく見せる要点をまとめてみました。

■テーマやコンセプトを決める

庭の大まかなコンセプトと、1年や季節ごとの明快なテーマを決めます。いつも同じでは変化が無くつまらないので、心身と庭のリフレッシュを兼ねた挑戦をして、ガーデナーの腕を上げましょう。

重要なのは、コンセプトは広く、テーマはシンプルに、ということです。伝えたいことをできるだけ分かりやすく、明確にすればするほど、完成度の高い庭ができます。



例) 白をテーマにした花壇

■ボリュームで目を奪う

「大きなもの」というのは、どんな時でも魅力的に感じさせる単純な仕掛け。小さな鉢を整理し、思わず「でか!」と叫ぶような鉢に植えてみましょう。鉢ではなくても、火鉢やワイン樽、ドラム缶・・・。思い切って小さな鉢は処分し、身の回りにある大きな器にチャレンジしてみてください。

海外の庭園では、大きな鉢や彫刻を効果的に配置する例が見られます。



例) 日本酒の酒樽を使用

■エッジを効かせる

エッジはどんな時でも効かせるに越したことはありません。芝生の端、生垣の刈込み等、エッジを作ることで空間に緊張感を演出し、引き締まった空間となります。ニューサイランなど、エッジを感じさせる植物を植えるというのも手です。



例) 広い庭は芝生のエッジを効かせ、小さな花壇にはシャープな植物で緊張感を出す

庭づくりはどうしても小手先のデザインに陥りがち。以上の3つをふまれば、引き算していないのに『引き算のデザイン』の印象に。客観的な構成で無駄がなく、フォーカルポイントがはっきりした迫力ある庭になります。是非、お試しください。

関西造園土木(株)勤務・兵庫県立淡路景観園芸学校第5期卒業

県民緑税を活用した都市の緑化の推進

～県民まちなみ緑化事業～

都市地域で県民のみなさんが行う緑化活動を支援します。

県民まちなみ緑化事業とは

まちなかを彩る花や緑は、私たちの暮らしに潤いとやすらぎを与えてくれるとともに、美しい景観形成や安全で快適なまちづくりに大きな役割を果たしています。

兵庫県では、こうした緑の保全・再生を社会全体で支え、県民総参加で取り組む仕組みとして、平成18年4月に県民税均等割の超過課税として「県民緑税」を導入し、この税を財源として、「県民まちなみ緑化事業」を展開しています。

事業内容

都市地域の環境の改善や防災機能の向上等を図るため、県民のみなさんが公園や学校、住宅地などで行う緑化のほか、まとまった面積の緑化が可能な土地所有者が行う樹木を中心とした緑化に対して、苗木等の購入や緑地整備の補助を行います。

県民のみなさんには、造園業者等からの苗木や肥料等の購入、植栽活動、植栽後の維持管理活動を行っていただきます。

対象地域

市街化区域、用途地域が定められた区域など
(校園庭の芝生化は県下全域が対象)



沿道の緑化（神戸市垂水区）

対象者

自治会、PTA等の各種団体など

対象事業

- ① 環境緑化…幼稚園や小学校などの園庭、運動場、校庭などの芝生化
駐車場の芝生化や建築物の屋上・壁面緑化など
- ② 修景緑化…土石採取跡地や廃自動車置き場等の緑化など
- ③ 防災緑化…学校、公園などや、それらに至る道路に面した土地の緑化
道路、河川及びその両側の土地の緑化など



幼稚園の園庭の芝生化（加古川市）

補助金額

苗木等の購入は100万円以内、土壌改良等を伴う場合は500万円以内など

補助実績

平成18年度から21年度までに、合計752件の緑化活動を支援し、学校・公園等では約28万6千本の植樹が、駐車場・校園庭等では約14.3haの芝生化が行われました。県内各地で緑とコミュニティを育む取り組みの輪が広がり、学校や公園など地域の身近な場所で住民団体等による緑化が着実に進められています。

事業の効果

都市における緑化を進めることにより、以下のような様々な効果を得られることが、学識経験者で構成された都市緑化推進検討委員会によって確認されています。





(1) 環境効果

① ヒートアイランド現象の緩和効果

緑化した箇所は、そうでない箇所に比べて、夏場の表面温度が低くなることが確認されています。

② 二酸化炭素の低減効果

植樹により二酸化炭素の吸収量が増加します。二酸化炭素吸収量の増加は、地球温暖化の防止に役立つとされています。

(2) 景観効果

① 地域景観の向上効果

事業を実施した住民団体などから、「実施箇所の景観が向上した」との意見が多く寄せられています。

② シンボルツリー

植樹した高木が地域景観上のシンボルとなり、災害時の避難の際の目印となるシンボルツリーとなり得ることが期待されます。



樹木による屋上緑化（三木市）

(3) 防災効果

① 樹木による延焼防止効果

樹木の成長により、火災時に避難路等として活用できる安全な区域が増加することが期待されます。

② 建物倒壊防止・落下物飛散防止効果

阪神・淡路大震災後の調査で、ブロック塀が樹木により倒壊を免れた事例や、建築物周囲の緑がエアコンの屋外機器などの落下物を受け止め飛散防止機能を果たした例が確認されています。

(4) その他の効果

① 教育環境の向上効果

校庭の芝生化を行った学校から、「外で遊ぶ児童の数が増えた」、「児童の怪我が少なくなった」などの意見が寄せられています。

② コミュニティ形成効果

緑化を行った事業実施者から、「訪問者が増加した」、「地域での評判が向上した」などの意見が寄せられています。



駐車場の芝生化（高砂市）

平成22年度 県民まちなみ緑化事業の募集

平成22年度は、4月1日(木)から9月30日(木)までの期間、「苗木等購入費、植栽帯、生垣、校庭の芝生化」の募集を行っています。

なお、「駐車場の芝生化、建築物の屋上緑化・壁面緑化」については、応募多数のため、第1期（5月31日(月)まで）をもって、募集を終了しました。

《募集概要》

- (1) 募集期間：平成22年4月1日(木)～平成22年9月30日(木)
- (2) 申請方法：苗木等購入費、植栽帯、生垣、校庭の芝生化→所定の申請書及び添付書類を先着順で受け付けます。
注) 募集期間内であっても予定額を超えようとする時点で締め切ります。
- (3) 申請書類等の提出先：補助金交付申請書－各市町の都市緑化担当課
募集案内、申請書類等は上記提出先で入手できます。また、兵庫県のホームページからもダウンロードできます。

ホームページアドレス http://web.pref.hyogo.lg.jp/wd20/wd20_000000005.html

- (4) 問い合わせ先：

兵庫県県土整備部まちづくり局都市政策課緑化政策係
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号
TEL:078-341-7711(内線2757) FAX:078-362-9487



全国オープンガーデンフォーラム in Awaji

主催 全国オープンガーデンフォーラム実行委員会in Awaji (兵庫オープンガーデンネットワーク等で構成)

4月17日(土)、18日(日)「淡路花博2010花みどりフェア」の一環として、全国オープンガーデンフォーラムが淡路市の淡路夢舞台国際会議場で開かれ、県内外から約350人が参加しました。

基調講演…里山園芸のすすめ！～柳生真吾のハケ岳だより～

元NHKキャスターでハケ岳倶楽部代表の柳生真吾さんが講演。ハケ岳南麓で自ら育て、一般公開している雑木林での四季折々の発見や体験をきさくな語り口で紹介されました。



パネルディスカッション

全国各地でオープンガーデンが開催されるようになって10年、わが国のオープンガーデンは、発祥のイギリスとは異なる独自の形態で展開され、花と緑のまちづくりに大きな役割を果たしてきました。

しかし一方で、行政の支援体制や資金面、利用者のマナーの問題など、継続に向けてのさまざまな課題も見えてきたところです。

そうした経緯をふまえ、淡路花博10周年というこの機会にこれまでのオープンガーデンの活動を振り返り、「オープンガーデンの広がりと可能性」というテーマでパネルディスカッションが行われました。

北海道から宮崎まで、全国各地でオープンガーデンの実践と普及に尽力されている5人のパネリストに、コーディネーターの須磨佳津江さん(園芸キャスター)、コメンテーターの松田清江さん(マルモ出版)を交え、熱のこもった討論が展開されました。

その結果は「オープンガーデン宣言(淡路宣言)」として取りまとめ、発表されました。



オープンガーデン宣言(淡路宣言)

これまでのオープンガーデンの果たしてきた役割をふまえて

オープンガーデンは、花や緑を通じた会話から人と人がつながり、新たな仲間の輪が広がり、地域コミュニティを再生します。

オープンガーデンは、庭主さんが主体となって活動していくことが基本ですが、美しく快適な花と緑のまちづくりに貢献することを再認識し、地域の状況に応じて行政と連携して取り組んでいきます。

オープンガーデンの今後の発展に向けて

オープンガーデンは、暮らしの中に豊かな花と緑をもたらし、心と身体健康づくりにつなげます。日本のオープンガーデンは、「庭」だけにこだわらず、公園、田んぼや畑、里山など、身近な花や緑の空間すべてとし、より多くの人とオープンガーデンの心を共有します。

「兵庫からの発信」

「兵庫からの発信」として、兵庫県におけるオープンガーデングループの持続的な支援体制のあり方について平田富士男先生(兵庫県立大学教授)より調査研究報告がありました。



交流会

フォーラム終了後、オープンガーデン実施団体の紹介パネルや協賛企業の資材を展示したロビーを会場に、主催者と参加者を交えての交流会を行い、日頃の体験談や苦労話に盛り上がり、親交が深まりました。

オープンガーデン交流見学会

2日目はオープンガーデン交流見学会が行われました。全国から集まった約70名の愛好家が3台のバスに分乗して、淡路、神戸、三田市の計14か所で庭めぐりを楽しみました。参加者は、写真撮影をしたり、庭主さんからお茶や手作りのお菓子をいただきながら歓談し、交流を深め、花や緑が快晴の空に映える美しい春の1日を満喫しました。



庭主さんの説明をしっかりとメモする参加者



庭で栽培されている淡路特産ナルトオレンジの搾りたてジュースを味わう

ひょうごローズクラブ総会・記念講演会

ひょうごローズクラブの総会・記念講演会が6月19日(土)に兵庫県公館で行われました。総会では、昨年度の事業実績が報告され、視察研修会、栽培技術講習会などの本年度事業計画が審議され、原案通り承認されました。約160名の会員をはじめとする参加者は、総会后、バラに関する講演会やミニコンサートを楽しみました。

会場には、兵庫県内で生産されている切り花用バラ約60品種や乾燥バラの加工品が華やかに飾られ、バラに関するサプリなどの商品や肥料、農薬、県内のバラ園を紹介するパネルなども展示され、参加者は熱心に見入っていました。また園芸相談コーナーも設けられました。



日本を代表するローズブリーダー寺西菊雄さん(ひょうごローズクラブ理事)に作出50年を迎えた黄バラ‘天津乙女’の誕生秘話とバラ栽培の秘訣を語っていただきました。朴訥は語り口から生まれる貴重なお話に参加者から質問が相次ぎました。



ローズオイルを活かした商品開発をされている(株)わかさ生活の村井恭子さんに、香りの女王ダマクスローズの故郷、ブルガリアを訪ねた体験談やローズオイルの効能などのお話をして頂きました。

グリーンメッセージ

皆さん、生物多様性の確保ってご存知ですか？

(財)兵庫県園芸・公園協会理事兼
花と緑のまちづくりセンター長
石原 憲一郎



日本の美しさは、大地が織りなす山や川、平地の繊細な起伏もさることながら、季節ごと地域ごとに異なる動植物の種類の多さと変化です。歳時記を読んでもみると、季節ごとの自然の風物や行催事が紹介されており、俳句や短歌に用いる季語の豊かさからも、日本の文化が豊かな自然現象（生物多様性）によって培われたことが読み取れます。

生物多様性を確保するという事は、「全ての生き物の間には違いある」という大前提に立ち、地球上の生き物がそれぞれに個性を持ち、様々な関係でつながっている環境を守り、育て、創ることなのです。

生物多様性（Biodiversity）の言葉が一般的になってきたのは、1992年のリオデジャネイロで開催された「国連環境開発会議」において生物多様性条約として採択されたことに始まるといわれています。その条約においては、遺伝子レベル、種レベル、そして生態系レベルの多様性の重要性や確保の意義が示されています。

2010年は、国連が定めた国際生物多様性年にあたり、10月には愛知県名古屋市において生物多様性条約第10回締結国会議（COP10）が開催されます。

COP10では、2002年オランダ・ハーグで行われたCOP6において採択された、「締結国は2010年までに生物多様性の損失速度を顕著に減少させる」という目標（2010目標）に代わる目標の設定と、「生物多様性戦略計画」の策定、さらに「遺伝資源へのアクセスと利益配分」などが大きなテーマです。

兵庫県では、日本の縮図と言われる多様な自然環境を背景に、いち早く平成21年3月に生物多様性ひょうご戦略を策定し、生物多様性の視点を持つ仕組みの確立、自然環境保全活動の推進、人の営みとの調和の推進、基盤整備の4つの行動計画と行政、団体、NPO、事業者など多様な主体の参加による取り組みの必要性を訴えています。

花と緑のまちづくりセンターにおいても、ひょうご戦略の強力な推進主体として、生物多様性を保全する活動の実践や県民や民間団体の支援や園芸教室を通じた環境学習等などに取り組みますが、花と緑の活動を実践されている皆様も、外来植物による生態系の影響を考慮した植物の選択、生物多様性に配慮した商品の選択など、この生物多様性の確保という命題を真剣に受け止めて、十分考慮して取組んで頂きたいと思います。



2008環境大臣会合G8神戸大会で淡路景観園芸学校学生が「外来種植物を使った生物多様性に配慮した庭!？」と題した庭を展覧しました。

季節の園芸相談

小果樹の代表選手ブルーベリー

Q 庭やベランダで果樹を育てたいと思っていますが、どんな種類の樹が良いでしょうか。

A 果樹の種類を選ぶには、その果樹が育てやすいかどうか重要です。樹が大きくなってしまったり、病害虫が発生しやすかったりすると、楽しみが半減してしまいます。

育てやすいものとしてブルーベリーが、よく栽培されています。自分で育て、収穫しジャムなどにすると食卓がより豊かなものになるでしょう。ただし、ブルーベリーは品種によって自家受粉しないものがあるので、違う品種と一緒に育てることが大事です。ベランダ栽培でも育てることが可能ですので、ぜひ試してください。



キッチンガーデンのつくりかた

Q 庭をキッチンガーデンにしたいのですが、良いアイデアはないでしょうか。

A キッチンガーデンは、自分が育てた野菜等をおいしくいただくということだけでなく、野菜やハーブの葉の色のグラディエーションと、一面に咲いた花を楽しむといった要素が加わった庭園と考えていいでしょう。

そのため、サニーレタスやシソなどの紫色、トウガラシ等の赤色・黄色などを加えて、よりカラフルな庭を演出してみてもどうでしょうか。きっとより豊かな気分を味わえることでしょう。もしスペースなどがあまりない場合には、大きめの野菜栽培用コンテナが市販されていますので、野菜の寄せ植え栽培として楽しむ方法もあります。



レモングラスの育て方

Q レモングラスのふやし方を教えてください。

A レモングラスの草丈は、1m~1.5mとかなり大きくなり、ススキのような細長い、葉っぱは、軽くもむとレモンのような清涼感のある香りがします。この芳香を利用して、ハーブティーや肉、魚料理の香りづけに利用されます。

<栽培適地>

日当たりのよい温暖で肥沃な土地を好みます。

<ふやし方>

株分けでふやせます。冬越しさせた株を5月頃、地上部20cmほどの所で切っておくと、6月梅雨のころ新芽が出てきます。

6~7月に茎を根元から数本ずつ株分けします。植え付け後の水やりは、活着するまでたっぷりと与えます。夏中、葉がよく伸びて紅茶で楽しむことができます。

<冬越し>

熱帯性、非耐寒性の植物で、霜が降りると地上部が枯れるので、冬は室内に入れて保護します。なお、関西の温暖な地では、マルチング(霜よけ)をして地植えのまま冬越しすることもできます。



** 園芸相談コーナー **

写真や実物をご持参いただきますと、お話ししやすくなります。

Tel 078 (918) 2405
10:00~16:00

Fax 078 (919) 5186

Eメールアドレス: info_midori@hyogopark.com

★★お気軽にどうぞ★★

県下の公園紹介

第5回☆☆☆ 淡路佐野運動公園

兵庫県立淡路佐野運動公園は、平成15年5月に面積約29.5haの県立公園として、愛称:ボールパークあわじは初めての本格的な運動公園として開園しました。

野球場

全国大会開催の規模を誇る本格的な野球場で、高校野球兵庫県大会予選やプロ野球ウエスタン・リーグ、関西独立リーグ、女子プロ野球の公式戦などの各種大会が行われています。



野球場

サッカー場

天然芝2面、人工芝1面のサッカー場で、「2002FIFAワールドカップ」でイングランドチームのキャンプ地や「2006のじぎく国体・少年男子」の会場となり、現在は、社会人から少年の大会まで、幅広く利用されています。



第1サッカー場

運動施設の芝生について

運動施設における芝生の総面積は、公園全体の約1/4にあたる約69,200㎡あり、生育期には、野球場やサッカー場で週1～3回刈り込みを行うほか、月1回の施肥や更新作業、土壌硬化防止作業等を行っています。



芝刈作業状況

多目的グラウンド

一度に野球4面（硬式は中学生まで）、グラウンドゴルフ、最大で一般サッカー2面、少年サッカーなら4面使用できる広さがあり、各競技大会会場としても利用されています。

ご利用についてのお問い合わせ 淡路佐野運動公園管理事務所
〒656-2213 淡路市佐野新島9-6 TEL. 0799-64-2222 FAX. 0799-60-4112

わが公園のこの一本

明石公園の「ラクウショウ」

明石公園のラクウショウ（落羽松）は、第1野球場の北側の園路沿いに植えられています。明治30年に明石公園内に設立された簡易農学校（現在の県立農業高校。大正11年に加古川に移転）の学生が卒業記念に植え、100年以上が経過。現在では県下最大のラクウショウで、県の郷土記念物に指定されています。

北アメリカ原産のスギ科の落葉針葉樹で、別名を「ヌマスギ」（沼杉）といいます。名前の通り湿地を好んで自生することが多く、幹の周囲に「気根」と呼ばれる根が地上に突き出てることがあります。明石公園では比較的乾燥した所に植えられているので、気根を見ることはできません。このような湿地を好む特性と、秋に樹全体が褐色に染まる紅葉の美しさから、都市公園内では池や沼の周りによく植えられています。また、まるでトリュフのような緑色の丸い実が初夏～秋にたくさんつき、見る人の目を楽しませてくれます。



鮮やかな紅葉の時



さわやかな新緑の時

花と緑のまちづくりセンターだより 13号

- 平成22年7月1日（年4回発行）
- 編集発行 財団法人 兵庫県園芸・公園協会
花と緑のまちづくりセンター長 石原 憲一郎
〒673-0847 明石市明石公園1-27 花と緑のまちづくりセンター
TEL：078(918)2405 FAX：078(919)5186
Eメール：info_midori@hyogopark.com

～ 編集後記 ～

全国オープンガーデンフォーラムin Awajiで全国から集まったパネリストの方々のバイタリティーには圧倒されました。その中であえて「楽しいから参加する」「無理をしない」をモットーに、という一人のパネリストの言葉が印象に残りました。肩の力を抜いて、それぞれのペースで楽しむことは意外に難しい・・・でも長く続ける秘訣ですね。